



LETTERS FROM SCHOOL

日々一歩ずつ前進！夢を叶える弓削高校！



弓削高等学校

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>



インターンシップ（2年生）

7月29日～31日の3日間でインターンシップを行いました。

働くことのやりがいや大変さを肌で感じながら、一生懸命仕事に取り組み、自分自身の進路決定に役立つ貴重な経験になりました。また、時間を守ることの重要さや物事を協力してやり遂げることの喜びなど、高校生活において大切なことを学ぶこともできました。



このインターンシップでの経験を今後の生活に活かしてほしいと思います。

第2学期始業式・表彰伝達

8月27日に第2学期始業式が行われました。校長式辞では、1・2年生は、次学年に向けた準備を少しづつ始めていくこと、3年生は自分自身の進路と真剣に向き合うことが大切であるという講話がありました。表彰伝達では、第4



回自転車甲子園で、自転車に関するクイズやプレゼンテーション、討論バトルなどで他校と競い合い、見事優秀賞を獲得した3名の生徒が表彰を受けました。

弓削高校は、今後もさまざまなことに挑戦していきます。引き続きよろしくお願ひいたします。



島親さん募集！

県外生の生徒のサポートをしていただける皆さまを募集します

連絡先 ☎ 77-2021
弓削高校 教頭 正岡

日本とアメリカの交通ルールの違い



こんにちは！

最近、運転免許を取得できたので、早速久万高原町までドライブをしてきました。日本の交通ルールやマナーを勉強しましたが、アメリカとは異なる点が多く困惑しました。そこで、今回はアメリカの交通ルールやマナーをいくつか紹介します。

1つ目は、車線についてです。アメリカでは右側通行が基本とな

っています。2つ目は、速度表示についてです。日本では速度を(km/h)で表しますが、アメリカでは、マイルペアワー(mph)を使います。例えば、日本の時速40キロはアメリカでは時速25マイルです。3つ目は、クラクションについてです。アメリカでは、危険を避ける時、知らせる時に加えて、あいさつやお礼の意味でも使います。また、通勤時間などはとても混雑しており、よく渋滞しています。なので、急いでいることを示すためにクラクションを鳴らす人もいます。しかし、これはとても失礼になります。

その他、アメリカでは、夜になると各地でストリートレースが行

弓削 月 19:30～弓削地域交流センター
生名 月 11:00～生名3分団集会所
岩城 木 19:30～岩城総合支所庁舎

われます。そのため、夜の運転はとても注意しないといけません。

今ご紹介したように、国によつて交通ルールやマナーは異なります。皆さんも、他国で車を運転する機会があれば交通ルールやマナーの違いに十分に注意してください。私も日本の交通ルールやマナーを守ってドライブを楽しみます！



弓削・魚島地区担当
ストロング エグゼビア アントニオ



かみじまリトリートDAY

9/8(日) 上島町観光協会主催の新たな試みとして「かみじまリトリートDAY」を開催しました。

このイベントでは、ヨガ、グラウディング、サイクリング、マルシェ、ストレッチ、漢方講座、アイリッシュミュージックライブ、と7つのプログラムを実施。町内の方をはじめ、遠く横浜や徳島からもご参加いただきました。

参加者からは「のどかな空気の中、ゆったりとすごせてリフレッシュできました！」、「上島町に住んでいる私も非日常を感じて満

喫しました。」「漢方講座では、『自分の声を聞いて自然の流れに沿って生きる』ことの大切さが心に響きました」といったお声をいただいております。

イベントの最後を飾ったアイリッシュミュージックライブでは、夕陽が沈むひだまり公園が会場となり、心地よい音楽が流れる中、参加者ほぼ全員がアンコールで手をつなぎ、音楽に合わせて踊る場面もありました。この一日を通して、多くの方にリトリート体験を満喫していただきました。



上島町観光協会

KAMIJIMA TOURISM ASSOCIATION



弓削商船高等専門学校

<https://www.yuge.ac.jp/>



県内企業の課題（クエスト）に挑む！

若手人材発掘事業で2チームが採択！
8月9日(金)「LEADING EDGE 四国」最終選考会がコムズ松山で開催され、本校から2チームが出場しました。今年度初開催である「LEADING EDGE四国(未踏的ない方の若手人材発掘育成事業)」は、経済産業省の「令和5年度 未踏的ない方の若手人材発掘育成支援事業費補助金『AKATSUKIプロジェクト』」採択事業であり、四国にゆかりのある、独創的なアイデアを持つ若者が、県内企業の課題解決に挑み、新規事業の創出を目指すプログラムです。

最終選考会には、中四国の高校、高専、大学より選考された10組が



2チームの代表者は、9月上旬にマレーシア、シンガポールで海外研修を行い、サポート企業と共に課題解決に取り組み、令和7年1月に最終報告会を実施する予定です。



『MaRinaid～MRデバイスを活用した航行支援システム～』
発表者:チーム離島人材
クエスト:決して止まらない船を創る

『Eco Sunshade～脱炭素に貢献しながら快適な夏を過す～』
発表者:平松夏々翔さん
クエスト:脱炭素社会を実現したい